

安達太良山の火山活動解説資料（令和2年10月）

仙台管区気象台
地域火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

○ 活動概況

- ・噴気など表面現象の状況（図1、図2、図3-①⑥）
監視カメラによる観測では、噴気は認められませんでした。沼ノ平火口付近の地熱域に特段の変化は認められませんでした。
- ・地震や微動の発生状況（図3-②～⑤⑦）
火山性地震は少ない状態で経過しました。
火山性微動は観測されませんでした。
- ・地殻変動の状況（図4、図6）
火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。

この火山活動解説資料は、仙台管区気象台のホームページ（<https://www.jma-net.go.jp/sendai/>）や、気象庁ホームページ（https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（令和2年11月分）は令和2年12月8日に発表する予定です。
資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、国土地理院、東北大学及び国立研究開発法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図50mメッシュ（標高）」を使用しています（承認番号 平29情使、第798号）。

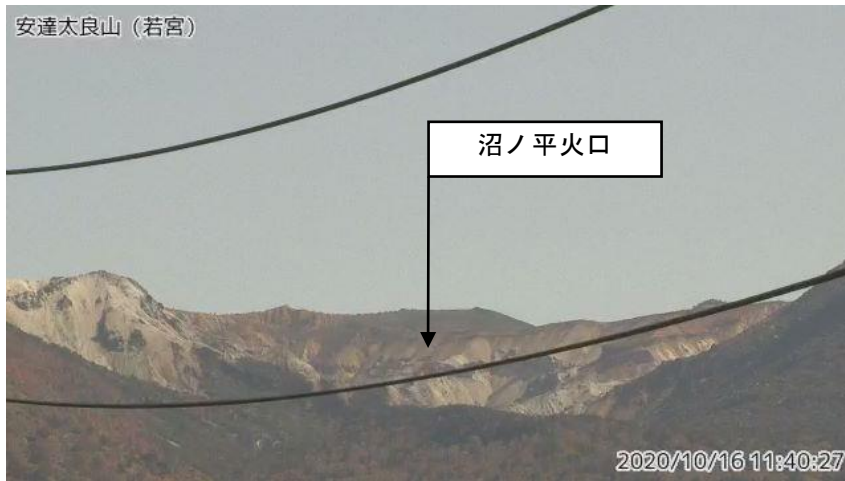


図1 安達太良山 沼ノ平火口周辺の状況（10月16日）
・若宮監視カメラ（沼ノ平火口の西北西約8 km）の映像です。

噴気は認められませんでした。

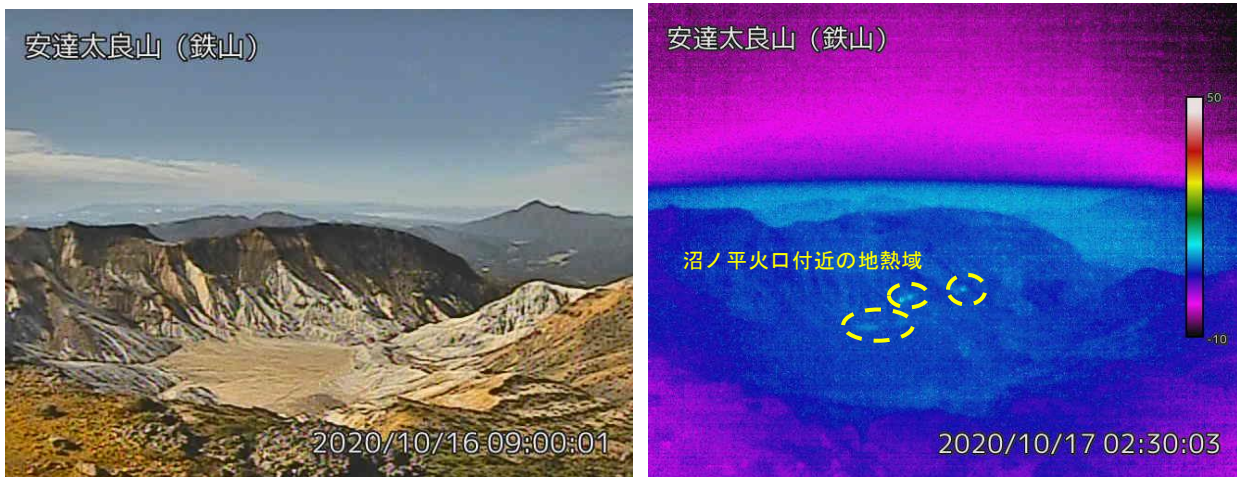


図2 安達太良山 沼ノ平火口周辺の状況（10月16日）と地表面温度分布（10月17日）
・鉄山監視カメラ（沼ノ平火口の北東約700m）の映像です。

噴気は認められず、沼ノ平火口付近の地熱域に特段の変化は認められませんでした。

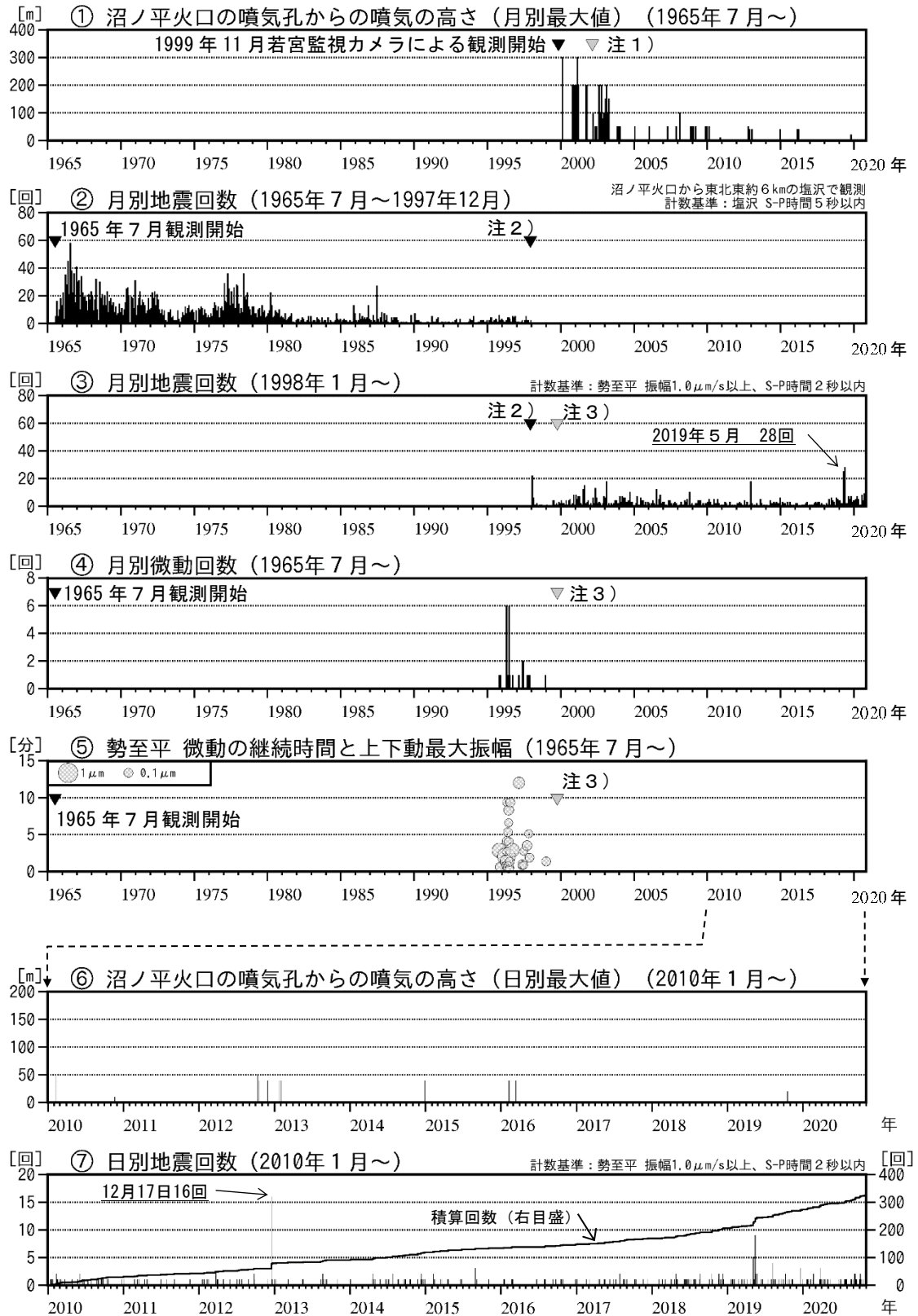


図3 安達太良山 火山活動経過図（1965年7月～2020年10月）

- ・注1) 2002年2月以前は定時（09時、15時）及び随時観測による高さ、2002年3月以降は24時間観測による高さです。
- ・②～⑤⑦計数に使用した観測点は次のとおりです（角カッコ内は地震回数の計数基準）。
観測開始1965年7月～塩沢観測点 [S-P時間5.0秒以内]
注2) 1998年1月～塩沢観測点 [S-P時間2.0秒以内]
注3) 1999年10月～勢至平観測点 [振幅 $1.0\mu\text{m/s}$ 以上、S-P時間2.0秒以内]

各観測データに特段の変化はみられず、静穏な状態で推移しています。

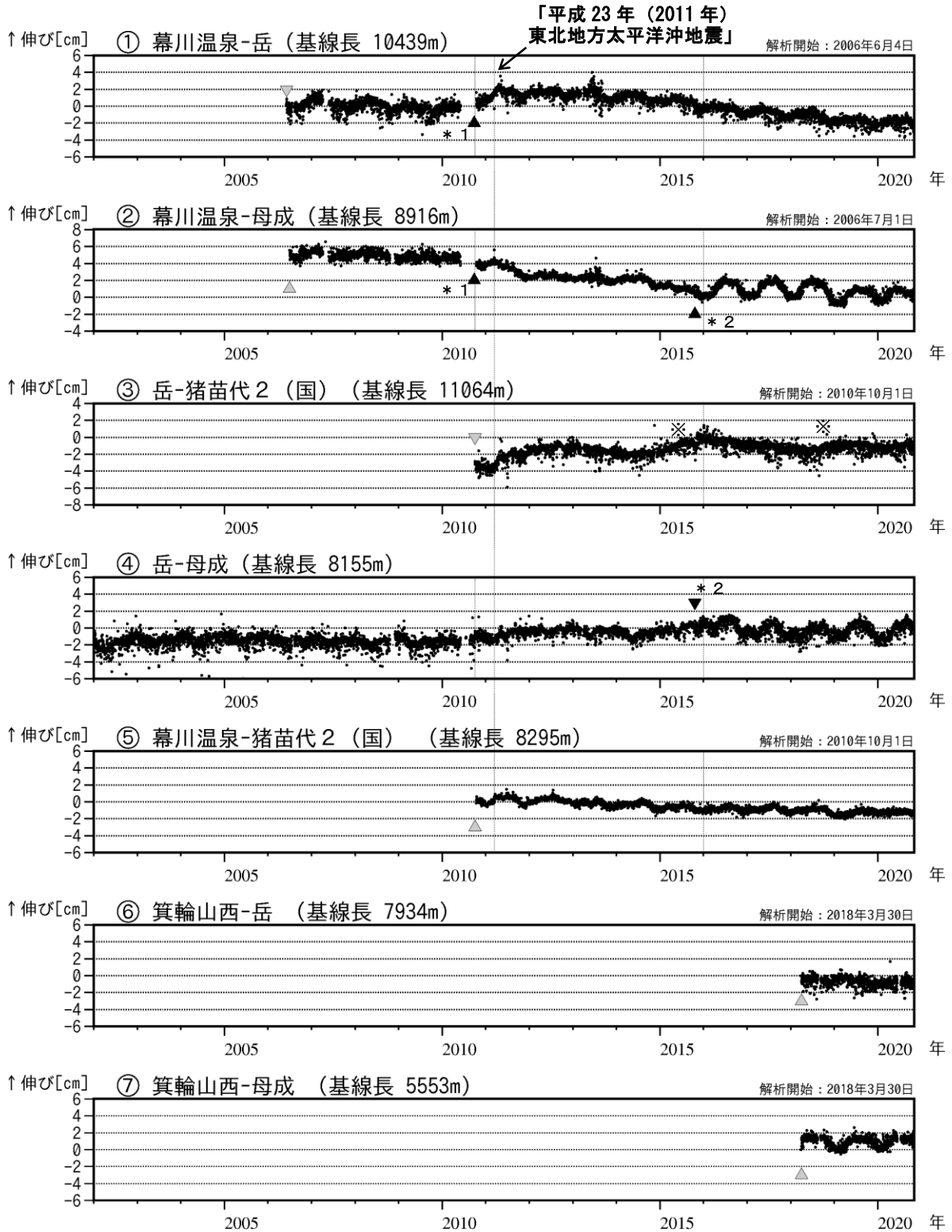


図4 安達太良山 GNSS 基線長変化図 (2002年1月～2020年10月)

- ・ 2010年10月及び2016年1月に、解析方法を変更しています。
- ・ 「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」に伴うステップを補正しています。
- ・ ①～⑦は図6のGNSS基線①～⑦に対応しています。
- ・ グラフの空白部分は欠測を表しています。
- ・ (国)は国土地理院の観測点を示します。
- * 1 : 幕川温泉観測点の機器更新を行いました。 * 2 : 母成観測点の機器更新及び移設を行いました。
- ▼▲ : 解析開始を示します。
- ※吾妻山の地殻変動に伴う変化と考えられます。

火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。

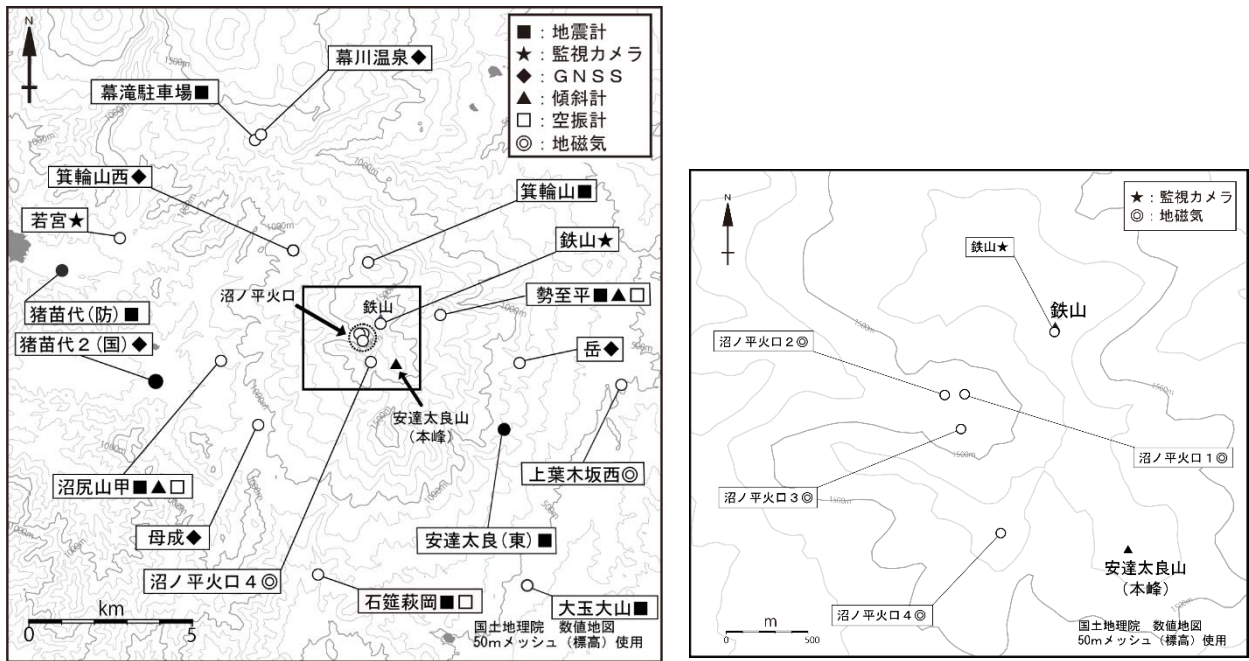


図5 安達太良山 観測点配置図

白丸（○）は気象庁、黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。
 左図の四角囲みは右図の表示範囲を示しています。
 （国）：国土地理院 （東）：東北大学 （防）：防災科学技術研究所

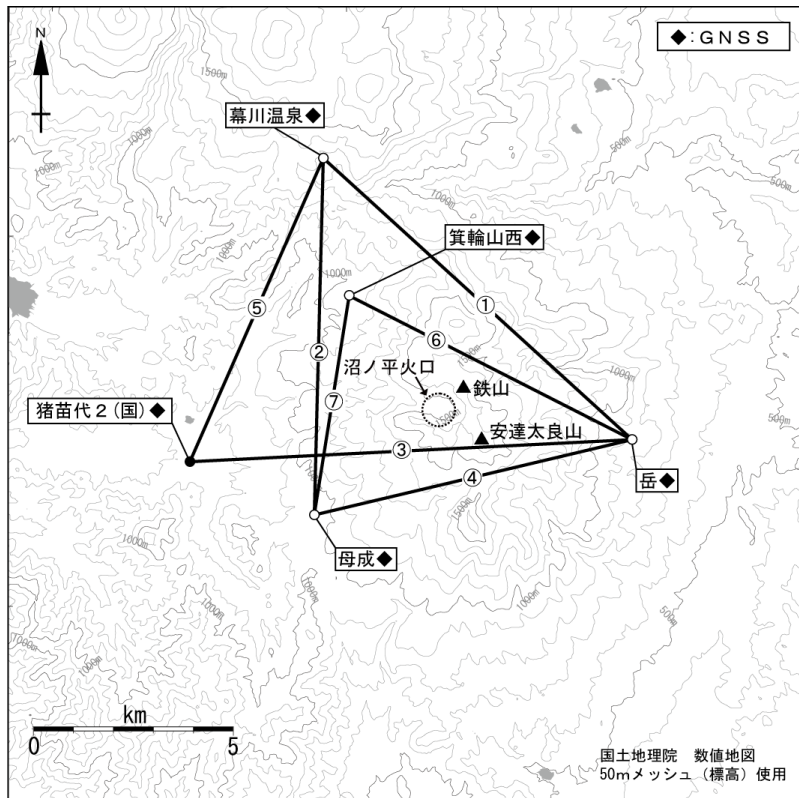


図6 安達太良山 GNSS 観測基線図

白丸（○）は気象庁、黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。
 （国）：国土地理院